

重視心と向上気とやる 求められる人材とは

中田商事



働きやすい職場をめざす中田社長

【三重】企業にとっ

目指している。

て一番の懸念材料は人材の確保と育成である。市は、福利厚生（伊賀美によって、「従業員が働きやすい職場」を

その一つが、計画的に代替えを進めているトラックにある。同社では、五年をめどに代替えを進めており、月二台のペースで発注、増車を行っている。ト

トラックはオートマとエアサス、四ツ車。新車で設備の整った車に乗れることは、ドライバー冥利につきる。このほど、十五人乗りのバスも導入し、社員旅行や社員の家族旅行に活躍する予定だ。同社は平成十二年四月に設立し、緑ナンバーを取得してから、辞めたドライバーはおらず、居心地の良さがうかがえる。「人がそろってくると利益が出る。客層も変わってくる」という。

同社長が求める人材は「前向きで向上心のある人」。未経験者であっても、やる気さえあれば問題ない。逆に「他社で覚えた癖がついているくらいなら、

一から育てたほうが良い」という。また、「運転がうまい人より、ミスが少ない人」を優遇する。どれだけ売り上げがあっても、事故を起こしたり、顧客の信用を損なうようなことがあれば、会社にとって大きな損失である。確実に正確な仕事求められる。社長自身も「経営者に認められる経営者」になることを目指し、3PLやIT活用に積極的だ。十月にはITコーディネータ協会が主催するレセプションで事例発表するなど、運送業界以外からもその活動は注目されている。

（三輪 功）